

すくわくプロジェクト

① 活動のテーマ 日々の描画活動

① テーマの設定理由

日々の生活や遊びの中で出会う様々な「色」に興味を持ち、自分が感じたことや気づきを、描画という美術体験を通して表現できる力を育てたいと考えました。子どもたちが、いろいろな画材を使ってわくわくしながら描画に取り組み、色を選ぶ、混ぜる、重ねるなどの体験ができる環境づくりが保育者の課題です。



② 一年を通して、日々の生活や遊びの中で描画活動を継続的に取り入れてきました。行事や季節の出来事、子どもたちの興味・関心に応じて用意する画材を変え、それぞれの画材で表現できる「色」の違いに触れながら、いつでも自由に取り組めるように環境を整えました。



③ 色鉛筆・ノリスジュニア色鉛筆・固形絵具

ポスターカラー・マーカーたふっこ・クーピー

完成した作品は、ピクチャーレールや額を利用して飾りました。



⑤ 日々の描画活動を継続することで、子ども達は画材の使い方や、描くことに慣れ親しみ、そこから自分なりに色を選び、試し、様々な表現を楽しむようになっていきました。色の組み合わせや、混色への興味も広がり「やってみたい」という主体的な姿が多く見られました。

また、年齢や発達に応じて道具や環境を工夫する事でそれぞれの子どもが安心して表現出来る事を改めて感じました。今後も子どもの気づきや探求心を大切にしながら活動を深めていきたいです。

④ 「この色きれい!」「混ぜたら全然違う色になった!」「さっきと同じ色にならない」と、色の変化や組み合わせを楽しむ声が多く聞こえました。子ども同士で、「え、どの色使ったの?」「おんなじ色作れたの、すごい」と会話をしながら描く姿が見られ、「色」について豊かに感じている様子が印象的でした。保育者は、「どんな色にしたかったの?」「どうしてこの色を選んだの?」と問いかけ、一人一人の感性や表現力を引出しました。「正解」を伝えるのではなく、子ども自身が感じた事を大切にしながら関わりました。

- ① 活動テーマ・テーマの設定理由 ②活動スケジュール ③活動のための素材、道具、環境設定
④ 探究活動の実践・子どもの声、子ども同士や保育者との関り ⑤振り返り 保育者の気づき